

平成29年度応募情報（Web入力項目）
（基盤研究（S・A・B・C）、挑戦的研究（開拓・萌芽）、
若手研究（A・B）、継続研究課題）作成・入力要領

応募書類のうち「研究計画調書」の「応募情報（Web入力項目）」については、この情報に基づいて応募内容の確認及び審査資料の作成を行うため、これらの入力内容によっては当該応募研究課題が審査に付されないことや審査の結果に影響を及ぼすことがありますので、作成に当たっては十分注意してください。

「応募情報（Web入力項目）」は、研究代表者が所属研究機関から付与された「府省共通研究開発管理システム（e-Rad）」（以下、「e-Rad」という。）のID・パスワードにより「科研費電子申請システム」（以下、「電子申請システム」という。）にアクセスして直接入力を行うものであり、このデータは同時に研究計画調書の前半部分を兼ねることとなります。

なお、応募情報の一部（エフォート等）は、e-Radに登録することとなります。

作成に当たっては下記の点に留意しつつ公募要領で定めるルールに基づいて、研究代表者が責任を持って作成してください。

また、研究代表者の氏名や所属等については、研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、確認時に誤りを見つけた場合は、入力データを一時保存した上で所属研究機関の事務局に連絡し、その指示に従ってください。

「受付中研究種目一覧」から応募する研究種目及び審査区分の「応募情報入力」を選択してください。なお、「応募情報入力」画面において、左上の「Japanese ▶ English」ボタンをクリックすると、英語表記の入力画面に切り替わります。

記

1. 新規・継続区分

【基盤研究（B・C）審査区分「特設分野研究」は「継続」を選択することはできません。

また、挑戦的萌芽研究は「新規」を選択することはできません。】

「新規」、「継続」のうち該当する区分を選択してください。

「継続」を選択する場合は、「大幅な変更を行う研究課題」に該当する課題に限ります。

「大幅な変更を行う研究課題」として応募する場合は、「継続」を選択するとともに、当該継続研究課題の課題番号を必ず入力してください。以降の項目については、新規応募研究課題に準じて入力してください。

2. 研究計画最終年度前年度応募の有無

【基盤研究（基盤研究（B・C）審査区分「特設分野研究」を除く）に応募する場合の入力項目です。】

「応募しない」、「応募する」のうち該当する区分を選択してください。

なお、「応募する」を選択する場合は、「研究計画最終年度前年度の応募」に該当する課題に限ります。「研究計画最終年度前年度の応募」として応募する場合（公募要領21頁参照）は、「応募する」を選択するとともに、平成29年度が最終年度である継続研究課題の課題番号を必ず入力してください。また、作成する研究計画調書の「研究計画最終年度前年度の応募を行う場合の記入事項」欄に、必要事項を必ず記入してください。

3. 審査希望分野

【基盤研究（A・B）審査区分「海外学術調査」、若手研究（B）に応募する場合の入力項目です。】

基盤研究（A・B）審査区分「海外学術調査」に応募する場合は、公募要領33頁により審査を希望する次の分野を選択してください。

「人文学A」、「人文学B」、「人文学C」、「人文学D」、
「社会科学A」、「社会科学B」、「社会科学C」、「社会科学D」、
「数物系科学」、「化学、環境学A」、「工学A」、「工学B」、
「生物学」、「農学A」、「農学B」、「医歯薬学A」、「医歯薬学B」、「環境学B」

若手研究（B）に応募する場合であって、1つの分野での審査を希望する場合は「1つの細目」を、複数の分野での審査を希望する場合は「2つの細目」を選択してください。

4. 分野名

【基盤研究（B・C）審査区分「特設分野研究」に応募する場合の入力項目です。】
公募要領61～65頁を参照し、審査を希望する分野を必ず1つ選択してください。

「紛争研究」、「遷移状態制御」、「構成的システム生物学」、
「グローバル・スタディーズ」、「人工物システムの強化」、「複雑系疾病論」、
「オラリティと社会」、「次世代の農資源利用」、「情報社会におけるトラスト」

5. 暫定総合審査希望分野番号

【挑戦的研究（開拓・萌芽）に応募する場合の入力項目です。】
公募要領66～67頁を参照し、審査を希望する分野の番号を必ず1つ入力してください。

6. 細目番号

(1) 基盤研究（S）、基盤研究（A・B・C）審査区分「一般」、若手研究（A・B）に応募する場合

「平成29年度科学研究費助成事業 系・分野・分科・細目表」（公募要領35～39頁参照）（以下、「細目表」という。）から、審査を希望する細目の細目番号を入力してください。

なお、若手研究（B）において、研究計画が新興・融合的で複数の分野での審査を希望する場合には、細目を「2つ」選定し入力することが可能です。（公募要領33頁参照）

また、基盤研究（C）で時限付き分科細目での審査を希望する場合は、「時限付き分科細目表」（公募要領40頁参照）から、審査を希望する細目の細目番号を入力してください。

(2) 基盤研究（A・B）審査区分「海外学術調査」に応募する場合

「細目表」から、最も関連が深いと思われる細目の細目番号を入力してください。

7. 分割番号

【基盤研究（S）、基盤研究（A・B・C）審査区分「一般」、若手研究（A・B）に応募する場合の入力項目です。】

以下に該当する場合は分割番号を必ず入力してください。

(1) 基盤研究（S）、基盤研究（A・B・C）審査区分「一般」、若手研究（A・B）に応募する場合であって、「細目表」のうち、「A」、「B」又は「C」の分割番号が付されている細目を選択した場合、審査を希望する分割番号を「『系・分野・分科・細目表』付表キーワード一覧」（公募要領41～60頁参照）（以下、「キーワード一覧」という。）により選択し、次の番号を入力してください。

「分割A」→A、 「分割B」→B、 「分割C」→C

ただし、基盤研究（C）審査区分「一般」に応募する場合であって、「細目表」のうち、下記枠内の細目を選択した場合、審査を希望する分割番号を「キーワード一覧」により選択し、次の番号を入力してください。

「分割A」の「分割1」→A1、「分割A」の「分割2」→A2

「リハビリテーション科学・福祉工学（2304）」のうち「分割A」、
「スポーツ科学（2402）」のうち「分割A」、
「応用健康科学（2403）」のうち「分割A」

(2) 基盤研究（C）審査区分「一般」に応募する場合であって、「細目表」のうち、「※」が付されている細目を選択した場合、審査を希望する分割番号を「キーワード一覧」により選択し、次の番号を入力してください。

「分割1」→1、「分割2」→2、「分割3」→3、「分割4」→4、「分割5」→5

8. キーワード

【基盤研究（S）、基盤研究（A・B・C）審査区分「一般」、若手研究（A・B）に応募する

場合】

(1) 細目表キーワード

「キーワード一覧」より、選定した細目内で最も関連が深いと思われるキーワードの記号を必ず入力してください。

なお、基盤研究(C)審査区分「一般」で時限付き分科細目での審査を希望した場合は入力する必要はありません。

若手研究(B)に応募する場合であって、「2つ」の細目を選定した場合には、キーワードの記号を各細目から1つずつ(計2つ)、それぞれ必ず入力してください。

(2) 細目表以外のキーワード

必要に応じて、「キーワード一覧」以外でより適切なキーワードがある場合は、1つを限度として任意のキーワードの名称を入力してください。

【基盤研究(B・C)審査区分「特設分野研究」に応募する場合】

最も関連が深いと思われる任意のキーワードの名称を必ず1つ入力してください。

(「キーワード一覧」から選んでも構いません。)

9. 研究代表者氏名

「氏名」欄は、研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、当該研究代表者が正しく登録されていることを確認してください。

10. 年齢

【若手研究(A・B)に応募する場合の入力項目です。】

研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、平成29年4月1日現在の年齢が正しく登録されていることを確認してください。

11. 研究代表者所属研究機関・部局・職

「所属研究機関」欄、「部局」欄及び「職」欄は、研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、当該研究代表者に係る研究計画調書作成時点での正しい所属情報が登録されていることを確認してください。

(1) 「部局」欄について、自動表示されている部局名が実際に所属する部局名と異なる場合は、実際の部局名を入力してください(部局レベルの所属がない場合は名称欄の入力は不要です。)

(2) 「職」欄について、自動表示されている職名が実際の職名と異なる場合は、実際の職名を入力してください。

12. 学位、現在の専門、エフォート

【若手研究(A・B)に応募する場合の入力項目です。】

それぞれの項目について、必ず入力してください。

「エフォート」欄は、本応募研究課題が採択された場合を想定した時間の配分率(1~100の整数)を入力してください。

時間の配分率の決定にあたっては、総合科学技術会議におけるエフォートの定義である「研究者の年間の全仕事時間を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率(%)」という考え方で決定してください。なお、「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事時間を指します。

また、本応募研究課題が採択された場合には、改めてその時点におけるエフォートを決定し、e-Radに登録することとなります。

13. 研究課題名

「研究課題名」欄には、研究期間終了時までの研究内容を具体的に表すような研究課題名(一般的、抽象的な表現は避けてください。)を原則40字以内で入力してください。

なお、半角文字も入力可能ですが、全角文字と半角文字が混在する場合、半角文字も1文字としてカウントされますので、ご注意ください。また、英文で研究課題名を入力したい場合には、半角文字で200字まで入力可能です。

研究課題名の変更は原則として認めません。

入力に当たっては、濁点、半濁点はそれだけで独立して1字とはなりません、アルファベッ

ト、数字、記号等はすべて1字として数えられ、表示されることに留意し、化学式、数式の使用は極力避けてください（例：「Ca²⁺」は「C a 2 +」と入力。4字とカウント）。

14. 研究の要約

【基盤研究（B・C）審査区分「特設分野研究」、挑戦的研究（開拓・萌芽）に応募する場合の入力項目です。】

応募する研究課題の研究目的及び研究目的を達成するための方法等について、簡潔にわかりやすくまとめて入力してください。和文又は英文での入力が可能です。

なお、全角文字のみの場合は500字、半角文字のみの場合は1000字まで入力が可能です。

15. 研究経費

「研究経費」欄には、研究計画に基づき、年度別・使用内識別に応募研究経費を入力してください。その際、以下に記載している「対象となる経費（直接経費）」及び「対象とならない経費」に留意してください。また、研究期間のいずれかの年度における研究経費の額が10万円未満の研究計画は公募の対象となりませんので、ご注意ください。

年度ごと、使用内訳ごとの合計額については、入力後の確認画面において自動表示されますので、入力した金額と併せて確認してください。

入力に当たっては、金額は千円単位で入力し、千円未満の端数は切り捨ててください。

また、①応募する年度において該当のない費目、②応募しない年度の全ての費目については、必ず全ての欄に「0」を入力してください。

「対象となる経費（直接経費）」

研究計画の遂行に必要な経費（研究成果の取りまとめに必要な経費を含む）を対象とします。

注）研究計画のいずれかの年度において、「設備備品費」、「旅費」又は「人件費・謝金」のいずれかの経費が90%を超える研究計画の場合及びその他の費目で特に大きな割合を占める経費がある研究計画の場合には、当該経費の研究遂行上の必要性について、研究計画調書に記載しなければなりません。

「対象とならない経費」

次の経費は対象となりません。

- ① 建物等の施設に関する経費（直接経費により購入した物品を導入することにより必要となる軽微な据付等のための経費を除く。）
- ② 補助事業遂行中に発生した事故・災害の処理のための経費
- ③ 研究代表者又は研究分担者の人件費・謝金
- ④ その他、間接経費（注）を使用することが適切な経費

注）研究計画の実施に伴う研究機関の管理等に必要な経費（直接経費の30%に相当する額）であり、研究機関が使用するものです。

今回、公募を行う研究種目には間接経費が措置される予定ですが、研究代表者は、間接経費を応募書類に記載する必要はありません。

16. 開示希望の有無

採択されなかった場合の第1段審査（書面審査）の結果について、「審査結果の開示を希望する」、「審査結果の開示を希望しない」のうち該当する区分を選択してください。

17. 研究代表者連絡先

【基盤研究（S）、基盤研究（B・C）審査区分「特設分野研究」に応募する場合の入力項目です。】

「研究代表者連絡先」欄には、研究代表者と直接連絡が必要な場合に備えた情報を入力してください（例えば勤務先住所は、本部所在地ではなく研究代表者が実際に勤務するキャンパスの所在地を入力してください。）。

18. 研究組織

【基盤研究（S・A・B・C）、挑戦的研究（開拓・萌芽）に応募する場合の入力項目です。】

基盤研究（S・A・B・C）及び挑戦的研究（開拓・萌芽）の研究計画については、必要に応じて「研究分担者」、「連携研究者」、「研究協力者」を研究に参画させることができます。

なお、「研究代表者」、「研究分担者」、「連携研究者」、「研究協力者」の定義は、次のとおりです。

「研究代表者」（応募者）

ア 研究代表者は、補助事業者であり、研究計画の遂行（研究成果の取りまとめを含む。）に関してすべての責任を持つ研究者のことをいいます。

なお、研究期間中に応募資格の喪失などの理由により、研究代表者としての責任を果たせなくなることが見込まれる者は、研究代表者となることを避けてください。（注）

（注）研究代表者は、研究計画の遂行に関してすべての責任を持つ研究者であり、重要な役割を担っています。応募に当たっては、研究期間中に退職等により応募資格を喪失し、責任を果たせなくなることが見込まれる者は研究代表者となることを避けるよう求めており、研究代表者を交替することは認めていません。

ただし、「新学術領域研究（研究領域提案型）」の「総括班」及び「国際活動支援班」研究課題については、所要の手続きを経て、研究代表者（領域代表者）の交替を認められる場合があります。

イ 研究代表者は、研究組織を構成する場合には、研究分担者との関係を明らかにするため、当該研究分担者が異なる研究機関に所属する者の場合にあっては「研究分担者承諾書（他機関用）」を、同じ研究機関に所属する者の場合にあっては「研究分担者承諾書（同一機関用）」を必ず徴し、保管しておかなければなりません。

ウ 研究代表者は、e-Rad に「科研費の応募資格有り」として研究者情報が登録されているほか、科研費やそれ以外の競争的資金で、不正使用、不正受給又は不正行為を行ったとして、平成29年度に、「その交付の対象としないこと」とされていないことが必要です。

「研究分担者」

ア 研究分担者は、補助事業者であり、研究計画の遂行に関して研究代表者と協力しつつ、補助事業としての研究遂行責任を分担して研究活動を行う者のことをいい、分担金の配分を受ける者でなければなりません（研究代表者と同一の研究機関に所属する研究分担者であっても、分担金の配分を受けなければなりません。）。

なお、研究期間中に応募資格の喪失などの理由により、研究分担者としての責任を果たせなくなることが見込まれる者は、研究分担者となることを避けてください。

イ 研究分担者は、研究代表者と同様、e-Rad に「科研費の応募資格有り」として研究者情報が登録されているほか、科研費やそれ以外の競争的資金で、不正使用、不正受給又は不正行為を行ったとして、平成29年度に、「その交付の対象としないこと」とされていないことが必要です。

「連携研究者」

ア 連携研究者は、研究代表者又は研究分担者の監督の下、研究組織の一員として研究計画に参画する研究者のことをいいます。

なお、連携研究者は、補助事業者ではないため、分担金を受け主体的に科研費を使用することはできません。

イ 連携研究者は、研究代表者及び研究分担者と同様、e-Rad に「科研費の応募資格有り」として研究者情報が登録されていることが必要です。

※ 「研究分担者」と「連携研究者」の違いは、科研費制度上の位置付けの違いであって、研究活動における役割の重要性は同じです。

「研究協力者」

ア 研究協力者は、研究代表者、研究分担者及び連携研究者以外の者で、研究課題の遂行に当たり、協力を行う者のことをいいます。

(例：ポストドクター、リサーチアシスタント (RA)、日本学術振興会特別研究員 (DC及び受入研究機関として本会に届け出ている研究機関において応募要件を満たさないSPD・PD・RPD)、外国の研究機関に所属する研究者 (海外共同研究者)、科学研究費補助金取扱規程第2条に基づく指定を受けていない企業の研究者、その他技術者や知財専門家等の研究支援を行う者等)

イ 研究協力者は、必ずしも e-Rad に「科研費の応募資格有り」として研究者情報が登録されている必要はありません。

また、「研究組織」は、次のことに留意して入力してください。

- (1) **研究組織 (研究代表者、研究分担者及び連携研究者) の入力欄**は、入力画面左側の「追加」ボタンを人数分押すことでデータ入力欄が表示されます。
使用しないデータ入力欄 (入力したが使用しない場合や全く入力しなかった場合) については、左側の「削除」ボタンを押してデータ入力欄を削除してください。
画面最下部に表示される「研究組織人数」欄は、データ入力欄の数により自動表示されます。
「研究組織人数」欄の数字と実際に入力したデータの合計人数が合わない場合は、入力後の確認画面においてエラーが表示されますので、入力しなかったデータ入力欄は必ず削除してください。
基盤研究 (B) 審査区分「特設分野研究」、基盤研究 (C) 及び挑戦的研究 (開拓・萌芽) において、2年度目以降に参画することを予定している研究分担者がいる場合には、研究組織に入力することができます。その場合の「平成29年度研究経費」、「エフォート」欄には「0」を入力してください。
- (2) **研究分担者、連携研究者の別**
「区分」欄には、「研究分担者」、「連携研究者」のうち該当する区分を選択してください。
- (3) 海外共同研究者や科研費への応募資格を有しない企業の研究者等との共同研究を含む場合、これらの研究者は「研究協力者」となることから、当該研究課題の研究組織には入力せず、研究計画調書等作成・記入要領の指示に従い、作成する研究計画調書の「研究計画・方法」欄等、全体の研究計画を説明する中で記載してください。
- (4) **研究者情報** (①「研究者番号」、②「氏名 (フリガナ・漢字等)」、③「年齢 (平成29年4月1日現在)」、④「所属研究機関・部局・職」、⑤「現在の専門」及び⑥「学位」) は、当該研究者に対応する正確な情報を、各研究者本人及び研究者の所属研究機関事務局に確認のうえ、入力または選択してください (所属研究機関・部局・職の番号一覧は、入力画面から呼び出すことができます。)
ただし、研究代表者に係る情報のうち①②③④は、研究代表者の所属研究機関からの事前登録情報が自動表示されますので、当該研究代表者の情報が正確に登録されていることを確認してください。
- (5) 「部局」欄について、部局番号一覧の名称が実際に所属する部局名と異なる場合は、実際の部局名を入力してください (部局レベルの所属がない場合は名称欄には入力不要です。)
- (6) 「職」欄について、職番号一覧の名称が実際の職名と異なる場合は、実際の職名を入力してください。
- (7) 「役割分担」欄には、平成29年度の研究実施計画に対する分担事項を中心に、研究代表者、研究分担者及び連携研究者がどのように協力して研究を行うのか、それぞれの関連がわかるように入力してください。
- (8) 「平成29年度研究経費」欄は、研究計画に基づき、研究代表者及び研究分担者への配分額を千円単位で入力してください (連携研究者については分担金の配分ができませんので入力不要です。)
各研究者への配分額の合計金額が「15. 研究経費」の「平成29年度の研究経費欄の合計金額」と一致するようにしてください (一致しない場合は、入力後の確認画面においてエ

ラーが表示されます。)

- (9) 「エフォート」欄は、研究代表者及び研究分担者について、本応募研究課題が採択される場合を想定した時間の配分率（1～100の整数）を入力してください（連携研究者については入力不要です。)

時間の配分率の決定にあたっては、総合科学技術会議におけるエフォートの定義である「研究者の年間の全仕事を100%とした場合、そのうち当該研究の実施に必要となる時間の配分率(%)」という考え方で決定してください。なお、「全仕事時間」とは研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動等を含めた実質的な全仕事を指します。

また、本応募研究課題が採択された場合には、改めてその時点におけるエフォートを決定し、e-Radに登録することとなります。